



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.18

地域連携病院⑭「田岡病院」

今回は、救急医療に力をそそぐ田岡病院を紹介します。

■ 質の高い救急医療の提供

田岡病院は、1926年に設立してもうすぐ90周年を迎える歴史ある病院です。徳島大学病院との連携は設立当初からあり、徳島大学病院の医師がCT検査や治療などに携わることで医師どうしの繋がりが多くなり、お互いの病院への紹介患者さんも増えてきています。

また、設立当初は山手町にてベッド数を234床設けてスタートし、その後北島町に194床を移転し、残った40床は救急専門として運用を続けました。40床という少ないベッド数でしたが、救急車を年間約2000台受入れるほど、素早いベッドコントロールを行っていたとのことでした。病床数が多い徳島赤十字病院や徳島県立中央病院に次ぐ受入れ数で、現在の万代町に移転してからも、県内ベスト3を維持しています。その理由は、救急専門医を4名、リハビリテーションスタッフを152名（うち81名は「きたじま田岡病院」に所属）揃え、早期対応・回復に力を注いでいるからです。また、全国トップクラスの講師を田岡病院に招き、救急の訓練コースを開催するなど、病院全体として救急に対する意識を高めているからだそうです。

■ 患者さんはもちろん医療関係者が利用しやすい病院へ

田岡病院は、救急だけでなくさまざまな専門的知識を持つ医師が増えたこともあり、毎朝全診療科によるカンファレンスを始めたそうです。そこでは、研修医が患者さんの状態及び今後の治療について説明したことに対し、さまざまな視点から医師らが指摘し、その患者さんの最適な治療を導いているとのことでした。

また、吉岡病院長の「仕事だけでなく家族や趣味も大切にしてほしい」という願いから、院内に24時間体制の保育園を設けたり、職員同士で勤務時間を調整可能にしたりするなど、職員が働きやすい環境を提供しているとのことでした。

最後に、吉岡病院長は、「新しい田岡病院となって5年目を迎え病院としての土台ができてきたので、次の5年を見通した目標を掲げさらにステップアップしていきたい。また、地の利を活かし、徳島大学病院をはじめとした周辺の大病院と連携した新しい医療を提供し、患者さんはもちろん医療関係者が利用しやすい病院を目指していきたい」と、今後の意気込みを語ってくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



▲院内保育園で笑顔の吉岡病院長

■ 問い合わせ
医療法人 倚山会
田岡病院
徳島市万代町4丁目2-2
Tel.088-622-7788

■ 説明は、
吉岡 一夫（よしおか かずお）
病院長